

開催日時	平成 28 年 11 月 17 日（木） 18：00～19：30
開催場所	音別町コミュニティセンター（研修室）
参加人数	8 人
出席議員	<p>畑中優周 副議長</p> <p>松尾和仁 議員（議会運営委員会副委員長、総務文教常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員）</p> <p>松永征明 議員（経済建設常任委員会委員）</p> <p>秋田慎一 議員（民生福祉常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>金安潤子 議員（議会広報特別委員会委員長：司会）</p>
質疑応答の内容	<p>問：音別地区は全地域で町内会があるが、釧路地区は加入率が低く 45.91%と全道で最下位であり、市長も苦慮している。議員の中にも町内会長になっている方も何人かおられるが、加入率を向上させるためにはどうすれば良いか聞きたい。地震・津波など災害の発生は、釧路市では避けられないこと。非常時には町内会などのお互いの助け合いが一番大切なことだと思うが、どう考えるか。</p> <p>秋田：私も釧路公立大学の隣の地域で町内会長をしている。マンション居住者は町内会に加入はしておらず、戸建てでも高齢世帯のため、回覧板を回すのがつらいなどの理由から町内会を辞めさせてほしいとの問い合わせもある。市長が先頭に立った大型スーパーでの啓発運動や町内会役員で未加入者への個別訪問などしているが、なかなか町内会加入にはつながらず、最近では防犯灯のお金だけ協力してもらう形で、町内会と関わりを持つ人も多くなっている。万が一災害が発生した時には2千数百人の市役所職員だけでは見守りや要援護者の確認は不可能な話で、地域のコミュニティが必要である。東日本大震災や熊本地震を考えて地域のつながりが大事だという意識が醸成されれば、加入率も徐々に向上していくものと期待している。</p> <p>問：音別地区は残念ながら人口 2,000 人を割ったが、原因として</p>

釧路地区への流出が止まらない状況にある。対策として雇用の場の確保等あるが、若い母親のアルバイト先や内職などを確保することが大事。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも、音別地区に該当する項目を具体的に策定し実施されることを強く望むがどうか。

松永(征)：人口減少対策とりわけ若い母親の就労対策だが、どう仕事をつくり若い人の働き場をどう創造するか大変難しい問題である。音別地区は保育所、幼稚園、特別養護老人ホームなど施設も充実しているので、それらを活用し働く場をつくることや、キクイモや富貴紙の生産規模を拡大し雇用を生み出すことも考えられるが、もう少し時間がかかるものと思う。国でも働き方改革などいろいろ議論をしているので、長い目でみてほしい。

問：教育の関係で児童生徒が釧路地区へ流出することもある。音別地区には立派な小学校、中学校もあり、学力も問題ないと聞いているが、さらなる人口流出対策として学力向上の対策をどう考えるか。

松尾：音別地区に特化した学力の数値はわからないが、委員会議論の中でも、いざ就職となった時に知識がついていないと中小企業から聞いているという話が出ていた。学校、家庭、地域、教育委員会や教育大学などが連携し、少しずつ教育問題の解決に向けて進めている。今後も議会で議論していきたい。

問：音別地区から釧路に向かう新道の釧路西インターチェンジ前で信号機に右折の矢印がなく、日曜日では混み合い1回の信号で3台程度しか進めない。右矢印を付けてほしいがどこに話をするとよいかわからないので教えてほしい。

秋田：信号機の設置は、市であれば市民生活課に陳情書でも結構なので提出いただきたい。なお信号の設置は北海道の所管で、事故の状況などで優先順位が決まると聞いており、最近はやすさすに計上されにくいようだ。

問：釧路サイクリング協会主催の全道大会が来年の9月2～3日

釧路大漁どんぱくに合せて開催される予定。300 人規模の大会で、今後関係者が市や警察に協力のお願いに行くものと思うが、スムーズに開催できるようご協力願いたい。現在、サイクリングが台湾等の観光客より評価され、北海道の魅力の一つになっており、旭川や十勝などで観光コース化されているが、釧路はまだコース化されていない。サイクリングロードのリフレから阿寒地区までは競技用自転車で走るには路面が悪くなっているため、大会に向けて整備してもらいたい。

松尾：いずれコース選定等の話があるものと思われる。湿原マラソンもいいが、帯広のようにマラソン大会などを経済効果の大きい街中で開催できるように話をしていきたい。

意見：釧路市の市有林でも植林から間伐まで一連の作業を行うが、今年は植林後エゾシカ侵入防止柵を予算がないという理由で設置しなかった。北海道には昨年 47 万頭のエゾシカが生息しており、釧路管内の農林被害も 13 億 8,000 万円という非常に大きな金額で、林業はこのうち 1 億 5,000 万円程度だが、せっかく植えたカラマツの頭を食べられたり、木皮をむかれたりして、大切な樹木を失うという状態が続いている。来年も植林すると思うがエゾシカの侵入防止柵の設置のための予算計上に賛成をしてほしい。設置が必要だと話していただければ、担当課もやりやすいと思う。市有林は市民全体の山であり、市有林が立派に成長することを祈っている者として、予算が削られることに大変不満を持っている。

松永（征）：エゾシカの個体数は現在 47 万頭、一時は 60 万頭を超えていたので若干減少しているが、依然として農作物や林業へのエゾシカ被害は増えている。ご意見をしっかり受け止めてしっかり議会の中で議論していきたい。

<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：本日、議会報告会に来てみて参加者が少なく残念。議会報告会でも発信の仕方を変えて来年どのくらい増やせるか検討してはどうだろうか。人脈を使ったり、チラシの内容を工夫したりなど、いろいろやってみて集まる方法を見つけることが大事と思う。連合町内会に声をかけて、各会長に来てもらうのも良いのでは。また、フェイスブックでの発信がちょっと足りないと思う。上手に発信できれば興味も持ってもらえるのでは。</p> <p>金安：釧路地区のほうは各委員がチラシを配付したりしていたが、音別町は出身議員がいなかったため、周知方法を検討すべきだった。来年は委員会メンバーも変わるが、たくさんの方に出席いただけるよう申し伝えたい。議会報告会について、釧路市議会のフェイスブックでもどんどん発信するようにしていきたい。</p>
	<p>意見：議会で音別地区のことを取り上げることが少ない。各議員にはそれぞれ支持者がいることは了解しているが、この議会報告会以外にも、日頃の個人の議員活動の中で音別町のことを把握していただきたい。</p> <p>畑中：去年の議会報告会で音別地区に訪問する機会をつくっていくとお話しをして、常任委員会ではエミューの工場や富貴紙の関係で視察を行った。阿寒町ではイベントに正副議長に出席の案内がくるので、我々も訪問しやすい面もある。今後も音別地区に訪問する機会を増やせるように努力していきたい。</p>